

エンジン点検・調整

*プラグギャップおよび交換時期

	一般NA	一般SC	赤帽
ギャップ基準値	1.0~1.1mm	←	←
交換時期	20,000km毎	20,000km毎	80,000km毎
メーカー型番	BKR5E-11	BKR6E-11	PFR6B-11

3. スパークプラグが焼け過ぎの場合は、下記について点検を行う。
 - 燃料混合気のうす過ぎ
 - 点火時期の進みすぎ
 - プラグ熱価の低すぎ
 - 冷却不足によるエンジンの過熱
 - プラグの締付不良
4. スパークプラグがカーボンでくすぶる場合は、下記について点検を行う。
 - 長いアイドリング運転や低速運転
 - 燃料混合気の濃すぎ
 - 点火時期の遅れ
 - プラグ熱価の高すぎ
 - イグニッションコイル、ハイテンションケーブルなど点火系の劣化
 - ピストンリング、バルブガイドの摩耗
5. 電極部が汚れている場合は、ワイヤーブラシで清掃する。

注意

- 赤帽車は白金チップ付のスパークプラグのため、プラグクリーナーの使用を避けること。

<取付け>

スパークプラグをプラグレンチに挿入し、プラグ座面まで指先で仮締めの後、本締めを行う。

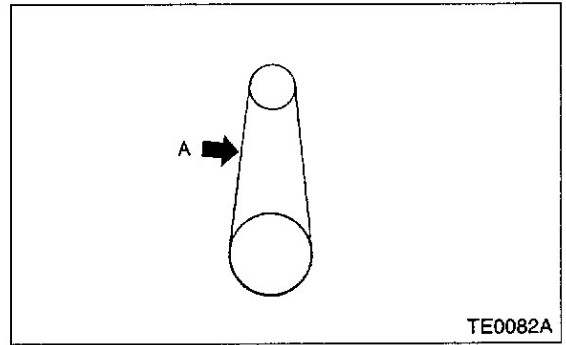
*スパークプラグ締付トルク

T $21 \pm 3\text{N} \cdot \text{m}$ [$2.1 \pm 0.3\text{kg} \cdot \text{m}$]

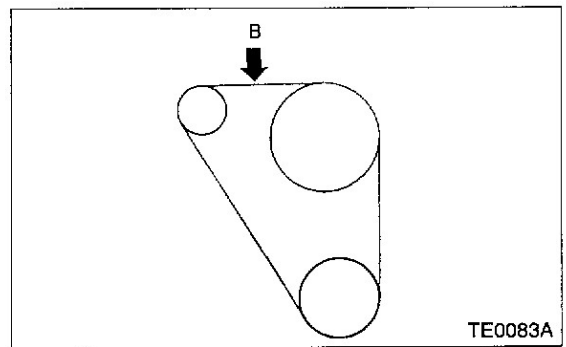
(7) Vリブドベルト

1. エンジン運転時に、ベルトの波打ちや横ぶれ回転しないか、ベルトのゆるみとアライメントを点検する。
2. ベルトの亀裂、破損、油の付着を点検し、損傷のひどい物は交換する。
3. ベルトのタワミ量を点検する

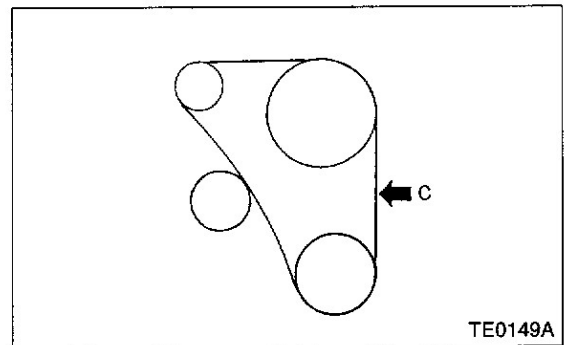
オルタネーター駆動用 (A/C無し)



オルタネーター駆動用 (A/C付NA)



オルタネーター駆動用 (A/C付SC)



スーパーチャージャー駆動用

